

ふるさと歴史館第十一回企画展

国指定記念

瓦塚室跡展

場 所：ふるさと歴史館（石岡市総社1-2-10 石岡小学校敷地内）
開催期間：平成29年8月1日（火）～平成29年10月29日（日）
開館時間：10：00～16：30
休館日：毎週月曜（ただし、月曜が祝祭日のときはその翌日）

※ 平成29年8月5日（土） 11：00より担当者による展示解説を行います。
ふるってご参加ください（40分程度を予定しています）。

瓦塚窯跡，いよいよ国指定史跡に！！

瓦塚窯跡ではこれまで7世紀前半の須恵器窯1基，8世紀前半から10世紀前半にかけての窯跡が34基，合計35基の窯跡が確認されています。在地豪族から郡司，そして国司へと操業主体の変遷も確認されるなど調査結果が高い評価を受けました。

平成29年6月16日午後5時，文化審議会から文部科学大臣への答申が公開され，瓦塚窯跡が正式に国指定文化財（史跡）になることが決定しました。石岡市内では「常陸国分寺跡」「常陸国分尼寺跡」「佐久良東雄旧宅」「舟塚山古墳」「常陸国府跡」に続く6件目の史跡指定となります。

これらのことを記念して，ふるさと歴史館では第11回の企画展にあわせ，瓦塚窯跡の展示を開催することとしました。



復弁十葉蓮華文軒丸瓦

8世紀の中ごろに瓦塚窯跡で焼かれている瓦です。屋根の軒先を飾るため文様が施されています。

文様はハスの花をデザインしています。ハスはお釈迦様の誕生を知らせるためにいち早く花を咲かせたとされ，仏教と関係の深い花です。平城京に類似した瓦が出土しており，関係が注目されます。

須恵器（すえき）

瓦塚窯跡では須恵器という土製の器も作っていました。左が7世紀前半，中央が8世紀の前半，右が8世紀後半のものです。7世紀前半には瓦塚窯跡付近には兜塚古墳があり，過去の調査で豪華な副葬品が確認されています。先進的な豪族の存在が瓦塚での操業開始と深く関わっているようです。



石岡市立ふるさと歴史館

開館時間 午前10時～午後4時30分
休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
交通 JR常磐線石岡駅西口より徒歩約12分
駐車場あり
住所 石岡市総社1-2-10 石岡小学校敷地内
電話 0299-23-2398

